

てんとう虫



目 次

- ◆ 表紙・目次・・・1
- ◆ 筑和 正格先生 瑞宝中綬章受章おめでとうございます・・・1
- ◆ 自伝的記憶と自己アイデンティティー 記憶形成におけるメディアの影響（所長 山田 義裕）・・・2
- ◆ 歩くこと 文学すること（客員教員 中村 三春）・・・3
- ◆ 基礎ゼミ受講生の募集・・・4
- ◆ 公開講演会（旭川）のお知らせ・・・5
- ◆ 次学期の準備について・・・6
- ◆ 卒業研究に関心のある学部生へ・・・7
- ◆ 証明書の発行について・・・7
- ◆ 客員教員による学習指導・学習相談・・・8
- ◆ 単位認定試験の実施について・・・9
- ◆ 【重要】2026年度以降の学習センター閉所日2日制の導入について・・・10
- ◆ 1月開催アカデミック・カフェのご案内・・・10
- ◇ 学友会からご案内・・・11
- ◆ スケジュール・・・12



筑和 正格先生 瑞宝中綬章受章おめでとうございます

この度、放送大学北海道学習センター 元所長の筑和 正格先生が令和7年秋の叙勲で瑞宝中綬章を授与されました。筑和先生の長年にわたる教育・研究等への功績と我が国の学術振興の発展に寄与された功績に対し、授与されたものです。

筑和先生から、受章にあたっての感想をいただきましたので、ご紹介いたします。



放送大学北海道学習センターからお祝いの言葉をいただきました。心より感謝申し上げます。

早いもので、放送大学を離れて間もなく8年が過ぎようとしています。大勢の学生さんたちと一緒に勉学や様々な活動を行ったことは、とても楽しい思い出です。

現在は、同好の士と共にドイツ語の本を読んだり、コミュニティFMで、月1回、お話をしたりという日常を送っています。

私は、ありがたいことに、いたって元気ですが、この間、残念ながら他界された方々もいらっしゃると伺っております。皆さんは、どうかご自愛の上、積極的に勉学や諸活動を進めて、悔いのない充実した日々を過ごされますように。くれぐれもお元気で！

～「てんとう虫」の由来～

1990年、北海道学習センターが北海道大学構内の札幌農学校・旧昆虫学教室に開設されました。学習センターだよりの発行にあたり、建物が昆虫学の研究に使用されていたことにちなんで「てんとう虫」という名前が命名されました。



旧昆虫学教室

自伝的記憶と自己アイデンティティ——記憶形成におけるメディアの影響



放送大学北海道学習センター
所長 山田 義裕

本題に入る前に、今回は皆様にうれしいニュースがあります。平成22年から7年間にわたり北海道学習センター所長を務められた筑和正格先生が、長年にわたる教育・研究等の功績が認められ、11月に瑞宝中綬章を受けられました。北海道学習センターを代表して、心よりお祝い申し上げます。本号には、叙勲に際し、筑和先生から皆様へのメッセージを掲載しておりますので、どうぞご覧ください。また、筑和先生の受章のご感想及びご功績の詳細につきましては、北海道大学の広報誌『北大時報』11月号に掲載されておりますので、そちらをご参照ください。

個人的な想いを少しだけ申し述べさせて下さい。筑和先生は私の前職である北大大学院メディア・コミュニケーション研究院の大先輩で、先生からは教育・研究だけではなく、部局の将来構想の企画や組織改革への取り組みに関しても、多くのことを教えていただきました。それだけに、筑和先生の今般の叙勲は、北大時代に苦労を共にした私たち後輩にとって感慨深いものがございます。受章の栄誉をお慶び申し上げるとともに、筑和先生のご活躍とご健勝を祈念いたします。

さて本題ですが、前回の所長巻頭言では、私たち個々人の体験の記憶である「自伝的記憶」を話題として取り上げました。そしてアルヴァックスの集合的記憶論を参考しながら、自伝的記憶は極めて個人的なもののように思われるが、実はその形成には地域社会や国内外の大きな出来事、例えば災害や革命・戦争などの社会的要因も大きく影響を及ぼしているのだ、ということを述べました。

自伝的記憶が私たちにとって重要なのは、この個人的体験の記憶が自己アイデンティティ、つまり自己というものの核になっているからです。自伝的記憶の形成には社会的要因も関与するという集合的記憶論の主張を踏まえるならば、自己アイデンティティの在り方も同様に、その人が生きている時代の社会状況に影響を受けていると考えるのが自然でしょう。自伝的記憶の形成および自己アイデンティティの在り方は、社会状況の変化によりどのような影響を及ぼしてきたのでしょうか。ここでは、メディアの進化にフォーカスして考えてみることにしましょう。

アルヴァックスが集合的記憶論を展開していた20世紀初めは、まだメディア研究の黎明期だったこともあり、この時代の記憶研究においてはメディアの影響はほぼ考慮の外にあったようです。しかし、近年ヨーロッパの研究者が中心となって進められている「メモリー・スタディーズ」においては、自伝的記憶や集合的記憶の形成においてはメディアが極めて重要な役割を果たしており、今や「メディアを抜きにして集合的記憶について考えることはできない」し、「あらゆる——個人の、また集団の——記憶が・・・メディア化された記憶」なのだという考えが一般的になってきています（アストリッド・エアル）。メディアは、特に近代以降進化を続けていますので、それに伴い記憶形成の在り方も変化していると考えられます。

今回の巻頭言はこのあたりで紙幅が尽きました。次回以降、近代のマスメディアからAI・ビッグデータ時代のソーシャルメディア、そして生成AIも視野に入れながら、メディアと自伝的記憶、集合的記憶の関係について考える予定です。

歩くこと 文学すること



放送大学北海道学習センター
客員教員 中村 三春

ある・く【歩】
動きまわる。ありく。

(足を使って、また乗り物を使って) あちこち移動する。また、外出する。
人の場合が多いが、人間以外にもいう。

(『日本国語大辞典』、小学館)

歩くのが好きだ。「坂といふものの一つもない市街、それが札幌だ」と、札幌農学校に学び、後身の東北帝国大学農科大学で教鞭を執った作家の有島武郎は、小説『星座』(1922)に書いている。この小説は農学校で「白官舎」と呼ばれた学生寮を舞台として、多くの学生たちが登場し、それぞれの未来への夢を語り、自己の希望の実現とそれを阻む内外の障害との間で、葛藤を繰り広げる多視点的な物語によって構成される。当時、白官舎は南二条西六丁目にあったという。彼らは冬の雪を踏みしめて、寮から夜学校(有島も代表を務めた遠友夜学校)に出かけたり、創成川を渡って家庭教師先に教えに行ったり、酒に酔って薄野遊郭方面に足を運ばせたり、実によく歩いている。

何処に歩いて行くのか自分でも知らないが、歩く事のいゝ事なのは分つてゐる。

全宇宙もさうだと教へてゐる。

過去も現在もさうだと教へてゐる。

(ウォルト・ホイットマン、「時を思う」 To think of time、有島武郎訳)

有島が生涯に亘って影響を受けたホイットマンは、このように歌っている。白官舎の学生たちのとにかく歩くパワーは、彼らの若さからだけでなく、学業を修めて東京へ出たい、自我を実現させたいとする志向の表れなのだろう。

私自身は、札幌暮らしが17年になる。盛岡・仙台・弘前・山形と、城下町ばかり、多くは盆地で山が迫っている街で過ごしてきた。大学で論文を書いた有島武郎ゆかりの土地に移り住むとは、その頃夢にも思わなかった。そして、私は札幌でも、毎日外へ出でては、少なくとも1時間以上は歩き回っている。城は自然の要害に築かれることが多い。不来方城の盛岡は三川の合流地であり、仙台の青葉城は小高い山城である。霞城の山形は馬見ヶ崎川のつくる扇状地に乗っかった街だ。仙台は空襲を受けて市街が碁盤の目再整備されたが、盛岡・弘前・山形はいずれも戦災を免れ、藩政時代からの入り組んだ街路が共通する。それらに馴染んだ私にとって、この中心というもの(城)のない、どこも全く均一でストレートに区画され、おまけに平坦な、文字通りの近代都市札幌を歩く経験は、中年期に知った初めての新鮮な感覚だった。

一方、いくら歩くのが好きといっても、中年期もはるかに過ぎると、自分はいつまで歩けるのかという思いが今度は生じてくる。

歩いている
自分の二本の脚で歩いている
いつか歩けなくなるとしても
いまは歩ける幸せ

谷川俊太郎『シャガールと木の葉』(2005)所収、その名も「歩く」の一節である。92歳の生涯を全うし、2500編とも言われる詩を100冊にも近い詩集に収めた(ついでに、絵本も創作・翻訳・写真を併せて300点以上)谷川は、森羅万象、生も死も性も含めてあらゆる人間活動を歌った。歩くこともその詩の題となり、『トロムソコレージュ』(2009)など羈旅の詩も多い。74歳時のこの詩は、続けて、「用事はあるがそれはどうでもいい」「そのどれもただ通り過ぎるだけ」と語る。最晩年はさすがに車椅子生活であったというが、それでも彼の夢は枯野をかけめぐっていたことだろう。

歩くことは文学すること。私も、この先歩けなくなるまで、いつまでも歩いていこう。心に有島や谷川の作品を問い合わせながら。

歩いている
このささやかな喜び(「歩く」)

*参考文献 前川公美夫「白官舎と時計台」(有島武郎『星座』、星座の会編・刊、1989)



受講生の募集

2025年度第2学期の客員教員による基礎ゼミを開講します。
つきましては次のとおり受講生を募集しますので、ご応募ください。

対象者：本学学生（ただし、定員を超える場合は、全科履修生を優先する。）

募集人数：各ゼミ10名（応募者多数の場合は抽選）

応募締切：1月14日（水）

応募方法：右上のQRコードまたは以下のURLから、専用フォームに ①学生番号、
②氏名、③希望するゼミ教員名（第3希望まで）を入力の上、お申込みください。

<https://forms.gle/2845WgbQRP1SnH7v5>

決定通知：受講が決定した方には、受講決定通知を送付します。

お問合せ：TEL：(011) 736-6318



実施場所：北海道学習センター（札幌）

氏名	澤 聰一 【臨床心理学】	概要：
テーマ (区分)	心を探求する心を育もう (1)(2)	心理学は、さまざまな社会的テーマに取り組む学問でもあります。では、「科学」として心理学が社会に寄与するには、どのようなアプローチが求められるでしょうか。本基礎ゼミでは、主に臨床心理学や発達心理学に関する調査法・面接法等を用いた論文を読むことを通して、「現場」から学び、「現場」に活かすための心理学研究への理解を深めるとともに、文献の探し方や、研究法についての実践的理解を深めることを目指します。
実施 日時	2月14日(土)13:30~15:00 2月14日(土)15:10~16:40 3月 7日(土)13:30~15:00 3月 7日(土)15:10~16:40	
氏名	鈴木 純一 【ドイ語文化・社会思想】	概要：
テーマ (区分)	社会学史を概観する (1)(2)	社会における出来事や人々の行動を研究対象とする場合、どのような観点から観察し分析するか、またどのような基準から整理し評価するか、多くの可能性がある反面、選択も容易ではありません。この基礎ゼミでは、社会学史（特に理論史）を概観することで、このような問題に対し適切にアプローチするための基礎を身につけることをを目指します。 テキストは大澤真幸『社会学史』（講談社現代新書）を使いますので用意しておいてください。
実施 日時	2月14日(土)13:00~14:30 2月21日(土)13:00~14:30 2月28日(土)13:00~14:30 2月28日(土)14:40~16:10	
氏名	谷 博文 【分析化学】	概要：
テーマ (区分)	生活と社会を化学で読み解く (1)(2)	私たちの生活と社会に化学物質は欠かせません。この基礎ゼミでは、身の回りの現象や社会で話題になる事柄を「化学」の視点から正しく読み解き、論理的に考え、根拠に基づいて理解し説明する力を養います。短い文献や公的資料を用いた読み解き、化学の基礎知識、情報の整理法を学びます。また、科学的文章の書き方を身につけ、最終的には自分の言葉で科学的に説明するレポートの作成を目指します。
実施 日時	2月 7日(土)10:00~11:30 2月 7日(土)13:00~14:30 3月14日(土)10:00~11:30 3月14日(土)13:00~14:30	
氏名	中村 三春 【日本文学】	概要：
テーマ (区分)	宮澤賢治の詩を読む (1)(2)	宮澤賢治の作品は広く愛読されていますが、必ずしも易しいものではありません。特に『春と修羅』などの詩は、科学・宗教・風土と、独特の世界観に彩られ、語彙も特異なものが多く、容易に読み解けません。このゼミでは、前半でどのような宮澤の文芸様式について講述し、後半では具体的に幾つかの詩作品を講読してみましょう。詩は『春と修羅』ほか、全時期から取り上げる予定のため、受講者は文庫本などであらかじめ広く宮澤の詩を読んでおいてください。
実施 日時	2月21日(土)13:30~15:00 2月21日(土)15:10~16:40 2月22日(日)13:30~15:00 2月22日(日)15:10~16:40	
氏名	吉野 巍 【心理学】	概要：
テーマ (区分)	心理学実験論文の読み方 (2)(3)	心理学研究を行うには、関連する先行研究（実験論文）を読む必要があります。この基礎ゼミでは、実験論文（認知・教育・音楽心理学等から選定）を2本ほど読むことにより、実験論文の読み方を身につけることを目的とします。1日目は、教員が用意した論文を輪読し、実験内容や統計的分析の意味を解説します。2日目は、受講生の希望も踏まえて論文を選び、受講生には、論文の担当部分のレジュメを作成し内容を発表してもらいます。
実施 日時	2月 1日(日)13:00~14:30 2月 1日(日)14:45~16:15 3月 1日(日)13:00~14:30 3月 1日(日)14:45~16:15	



実施場所：旭川サテライトスペース（旭川）

氏名	小泉 匡弘 【技術教育】	概要：
テーマ (区分)	実践研究のデザインとまとめ方 (2)(3)	研究を進める上での技法を身につけることを目指します。興味のある実践に関する文献を基に先行研究の読み方について学びます。また、研究に必要となるデータの種類と収集方法を知り、実際のデータ分析を体験します。そして、レポートや論文としてまとめる際のルールを学び、自身の研究デザインについてプレゼンテーションを行います。 ・パソコンを用意してください。 ・初日（2/7）までに自分の興味のある文献を1つ用意してください。
実施 日時	2月 7日(土) 13:30~16:30 2月14日(土) 13:30~16:30	
氏名	高橋 雅治 【心理学】	概要：
テーマ (区分)	文章パターンによる英語論文執筆入門 (3)	このゼミでは、基本的な文章パターンを使って英語論文を執筆する方法を身につけることを目指します。初学者でも理解できるような易しい内容なので、英語が得意でない方でも参加できます。 テキストについては必要な部分を配布するので、購入の必要はありません。オンラインでの参加も可能です。 教科書：「心理学英語〔精選〕文例集」高橋雅治他著 朝倉書店。
実施 日時	3月 7日(土)14:00~17:00 3月14日(土)14:00~17:00	

区分：(1) 論理的思考法、(2) 研究実践法、(3) 論文作成法

*卒業研究の履修希望者は、上記3つのカテゴリーをすべて受講した上で申請することを推奨します。

*【 】内は客員教員の専門分野です。

備 考：締切後に空席のあるゼミについては、先着順にて受付けますのでお問合せください。
不測の事態発生により、開講中止となる場合や、Web会議システムでの開講方式に変更する場合（講義内容も一部変更）がありますので、あらかじめご了承願います。
受講決定通知、テキスト送付及び開講中止となった場合等はキャンパスメールに連絡します。

公開講演会のお知らせ

令和7年度旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」参加事業

講演題目『教育におけるものづくりDXの現在と未来』

開催地は…

旭川市

講師：客員教員 小泉 匡弘 先生
(北海道教育大学准教授)

日 時：2026年2月15日（日）13:30～15:00

会 場：旭川市民文化会館2階・第2会議室
(旭川市7条通9丁目)

概 要：学校教育における、技術教育の理念とものづくりのデジタルトランシスフォーメーションの現在について、レーザー加工機・マイクロコンピューターの体験を交えながらご紹介します。

定 員：40名（参加無料）

主 催：放送大学北海道学習センター

申込・問合せ：放送大学旭川サテライトスペース（☎ 0166-22-2627）

申込フォーム



次学期(2026年度1学期)の準備について

継続入学(出願)手続き

学生生活の栄:教養学部(p.95~) 大学院(p.100)

【今学期で学籍が切れる方で、次学期も学習の継続を希望される方】

大学本部から1月中旬に「継続のご案内」が送付されます。

募集要項等を希望する場合は、大学本部または北海道学習センターに請求してください。

面接授業について	出願方法	出願期間
学期当初から 面接授業を希望する方	システム WAKABA 教務情報 → 継続入学申請	2026年2月13日(金) 9時 ～2月27日(金) 24時
学期当初から 面接授業を希望しない方	システム WAKABA 教務情報 → 継続入学申請 出願票を郵送【私書箱必着】	現在受付中～ 2026年3月16日(月) 17時 現在受付中～ 2026年3月16日(月) 必着

◆入学には放送授業またはオンライン授業から1科目以上の登録が必要です。

◆初めて全科履修生になられる方は、期間内に「大学入学資格証明書類」を提出してください。

科目登録申請手続き

学生生活の栄:教養学部(p.61~)・大学院(p.65~)

【次学期も学籍が続く方】

大学本部から1月中旬に「2026年度第1学期 科目登録申請要項等」が送付されます。

記載事項をご確認の上、2026年度第1学期に履修したい科目(放送授業、オンライン授業、面接授業)を期間中に申請してください。

申請方法	申請期間
システム WAKABA 教務情報 → 科目登録申請	2026年2月13日(金) 9時～2月28日(土) 24時
「科目登録申請票」を郵送	2026年2月13日(金)～2月27日(金)【私書箱必着】

◆全科履修生は、休学期間を除き、学費納入がない期間が4学期(2年間)続くと除籍となります。
3学期間科目登録をしていない方は、科目登録申請をしてください。

◆申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」が到着しない場合や紛失してしまった場合は、大学本部へ連絡してください。【TEL: 043-276-5111(総合受付)】

学期末で卒業見込みの方

学期末で卒業見込みの方には、本部より、「継続入学手続き等のご案内」が送付されます。
これらをよくお読みの上、必要に応じて継続入学または科目登録手続を行ってください。

諸証明書の発行について

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hokkaido/procedure/>

諸証明書の交付を希望する方は、北海道学習センターホームページ「各種お手続き」より、申請方法をご確認ください。



卒業研究に関心のある学部生へ

学生生活の栄 : 教養学部 (p.51)

本学の卒業研究は全科履修生の選択科目です（必須科目ではありません）。

指導教員の指導の下で研究を進め、卒業研究報告書をまとめる通年科目です。（自コース科目6単位として認定されます。）卒業研究の履修を希望する方は、報告書を作成する上で役立ちますので、毎学期開講する「論文指導」の面接授業と「客員教員による基礎ゼミ」（本紙P.4-5掲載）を、是非ご活用ください。

申請條件

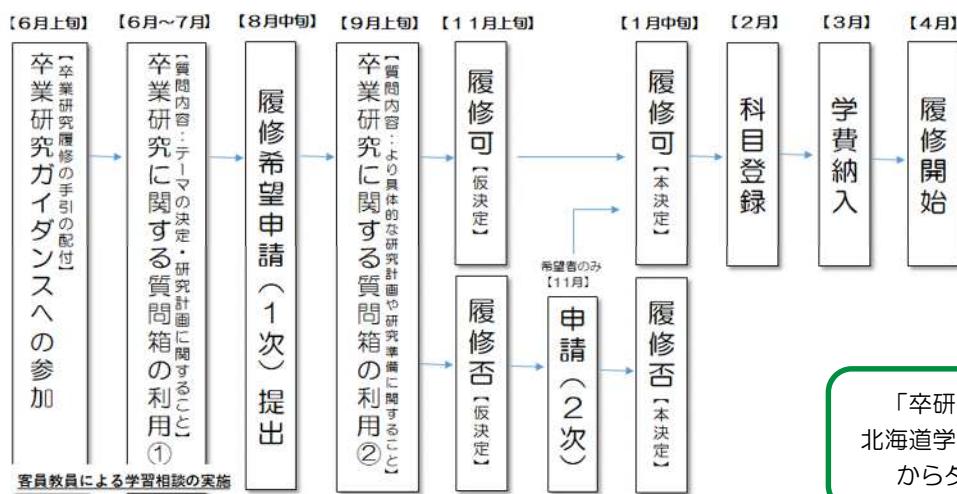
2026年4月1日の段階で全科履修生として、2年以上（休学・停学の期間を除く）在学し、かつ62単位以上を修得していることが必要です。

詳細は、6月上旬に開催される卒研ガイダンスで配付する「卒業研究履修の手引～2027年度履修者用～」でご確認ください。

事前準備

- ① 卒業研究テーマを決める。(『**学習相談**』で客員教員の助言を受けるのが効果的)
- ② 関連する参考文献や資料を読んだり、収集する。
- ③ 卒業研究の進め方を知る。

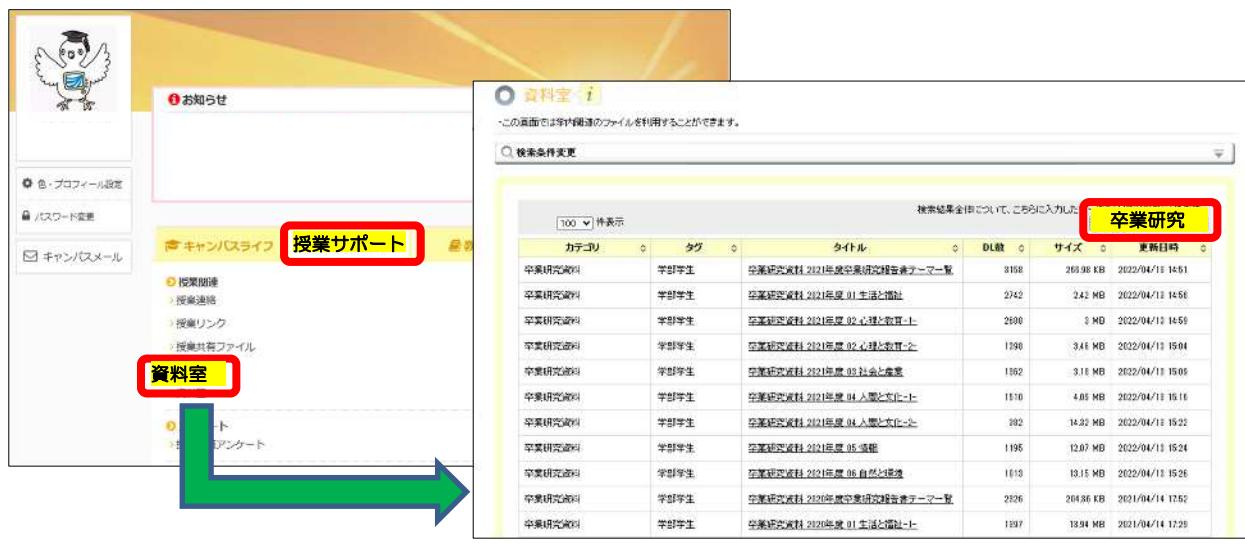
卒業研究のスケジュール（概要）



「卒研希望者学習相談」は、
北海道学習センターウェブサイト
からダウンロードできます

過去5年間の卒業研究報告書をシステムWAKABAで閲覧できます

システムWAKABAにログイン→「授業サポート」→「資料室」→検索窓に「卒業研究」と入力



客員教員による学習指導・学習相談

◎対面・電話・web会議システム『Zoom』のいずれかにおいて、本センターの客員の先生方が学習の進め方、学習上で生じた種々の相談に応じます。
※「学習相談票」に希望の相談方法・必要事項を記入し、相談日の7日前までに事務室宛にお送りください。
「学習相談票」は北海道学習センターHPよりダウンロードが可能です。

◎令和8年1月から令和8年3月までの相談日程（予定）は、次のとおりです。
◎先生方のご都合により急遽日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

北海道学習センター

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる学習相談の日程			時 間	
坂本 雄児 先生	メディア工学	1/8(木)	2/12(木)	3/5(木)	14:00	～ 16:00
		1/15(木)	2/19(木)	3/12(木)		
		1/29(木)	2/26(木)			
佐藤 洋子 先生	小児看護学 母子看護学	1/6(火)	2/3(火)	3/3(火)	14:30	～ 16:30
		1/13(火)	2/10(火)	3/10(火)		
		1/27(火)	2/17(火)			
澤 聰一 先生	臨床心理学	1/8(木)	2/19(木)		10:00	～ 12:00
		1/15(木)				
		1/22(木)				
鈴木 純一 先生	ドイツ言語文化・社会思想	1/8(木)		3/5(木)	12:30	～ 14:30
		1/15(木)				
		1/22(木)				
谷 博文 先生	分析化学	1/7(水)	2/18(水)		10:00	～ 12:00
		1/14(水)				
		1/28(水)				
張 博一 先生	国際法	1/14(水)	2/4(水)	★3/28(土)	★ 10:00	～ 12:00
		1/21(水)	2/5(木)	★3/31(火)		
		1/28(水)	★2/6(金)			
中村 三春 先生	日本文学	1/9(金)	2/13(金)	3/6(金)	14:00	～ 16:00
		1/23(金)		3/13(金)		
		1/30(金)				
西川 克之 先生	観光研究	1/16(金)	2/13(金)	3/13(金)	13:30	～ 15:30
		1/30(金)	2/27(金)			
濱田 淳一 先生	腫瘍生物学	1/7(水)	2/4(水)	3/4(水)	10:00	～ 12:00
		1/15(木)	2/18(水)	3/11(水)		
		1/21(水)	2/25(水)			
吉野 巍 先生	心理学	1/13(火)	2/6(金)	3/4(水)	10:00	～ 12:00
		★1/21(水)	2/17(火)	3/10(火)		
		★1/28(水)			★11:30	～ 13:30

旭川サテライトスペース

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる学習相談の日程			時 間	
石塚 博規 先生	英語教育学	木曜日（基本的に第1週～第3週）			13:30	～ 15:30
小泉 匡弘 先生	技術教育	金曜日（基本的に第1週～第3週）			9:30	～ 11:30
高橋 雅治 先生	心理学	水曜日（基本的に第1週～第3週）			14:00	～ 16:00

2025年度第2学期 単位認定試験の実施について

試験関係スケジュール

受験票	システム WAKABA : 12月 26日（金）予定 受験票発送日 : 1月 7日（水）予定	
単位認定試験期間	Web 受験科目	【記述・併用式科目】 1月 18日（日）9:00～1月 22日（木）17:00 【択一式科目】 1月 18日（日）9:00～1月 26日（月）17:00
	郵送受験科目	1月 18日（日）～1月 22日（木）《必着》
成績発表	システム WAKABA : 2月 13日（金）予定 成績通知書発送日 : 2月 17日（火）予定	

実施方法

*郵送受験方式で実施する科目を除きます。

- ◆本学ホームページのシステム WAKABA の学内リンクから「Web 単位認定試験システム」にアクセスし、受験します。
- ◆試験期間中は自宅等から 24 時間いつでも受験できます。
- ◆1 科目 50 分の制限時間があります（一時停止不可、1 回のみ受験可能）。
- ◆「択一式問題」は選択肢をクリックすることで解答します。
- ◆「記述式問題」は解答記入欄に文字入力により解答します。
- ◆受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まると後は、受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。

試験期間中好きな時間に好きな順番で受けられます



体験版の提供

操作ガイド（必読）

学内リンク
「Web 単位認定試験」をクリック

2025年度第1学期 単位認定試験

2025.04.01 「Web単位認定試験システム公開」のお知らせ

はじめに、画面左側の「リンク集」→「○操作ガイド（必読）」受験に際しては、受験票同封書類に記載の「単位認定試験ください。」

科目一覧

Web 単位認定試験体験版

単位認定試験通知（受験票）

単位認定試験の受験資格（通信指導合否）をシステム WAKABA で確認できます。

システムWAKABA→「教務情報」→「単位認定試験時間割照会（学生用）」

受験票の出力もできます



※1月上旬、本部から受験票が送付されますが、郵便事情により到着が遅れる可能性がありますので、システムWAKABAでの確認を推奨します。

Web 単位認定試験体験版が公開されています。
体験版ではログインから解答までの操作の流れを体験できます。
受験前までに体験版を操作してください。
操作方法は、操作ガイド（必読）を確認ください。

重要

2026年度以降の学習センター閉所日2日制の導入について

北海道学習センター、旭川サテライトスペースでは、2026年4月1日以降、**閉所日2日制**を導入させていただきます。

閉所日等については以下のとおりとさせていただきましたので、お知らせします。

【開始日】2026年4月1日

【閉所日】日曜日に面接授業、行事等がある週：**月曜日、火曜日**

日曜日に面接授業、行事等がない週：**日曜日、月曜日**

その他国民の祝日、お盆休み、年末年始は閉所いたします。

また、臨時閉所日もありますので来所の際は北海道学習センターwebサイトをご確認ください。

閉所時のお問い合わせは、北海道学習センターのメールや本部学生サポートセンター（電話：043-276-5111）をご利用ください。



1月開催 アカデミック・カフェのご案内 (気軽に学べる講演会)

1月31日(土) 13:00～14:15(会場：北海道学習センター・大講義室)

講師：客員教員・吉野 嶽 先生(北海道教育大学札幌校教授)

題目：「主体的・対話的で深い学び」を認知心理学から考える

概要：現行の文部科学省・学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。一昔前の詰め込み型で一方向的な授業ではなく、生徒が主体的に目的意識や見通しをもって学習すること、生徒同士が対話を通じて多様な意見や視点に気づきながら学ぶこと、知識を相互に関連づけてより深く理解し学ぶことを推奨するのですが、このような考えの多くは、認知心理学的・教育心理学的な研究によって導かれたものです。このアカデミック・カフェでは、「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びなのかを認知心理学的な視点から解説したいと思います。

参加申込 QR →
(電話申込可)



※ Zoom 配信あり



Zoom 参加の方（必須）
共通 ID・パスコード

ミーティング ID : 299 177 3987
パスコード : kouryu (半角) 部外秘



学友会からご案内

学友会 Web サイト マイナーチェンジ



<https://sites.google.com/view/ya-friends>

- ・「ブログ」
会員からの投稿です。毎週日曜日更新中
日常のたわいもないことを綴っています。
投稿募集中です。
投稿先 oujhokkaido.gakuyukai@gmail.com
- ・「学習センター風景」
学習センターの「今」を毎週伝えます。
毎週水曜日更新中
- ・「メグさんの耳寄り情報」
メグさんがお得な情報を伝えます。随時更新
メグさんの取得単位は800単位越え



とても見
やすく
なったね



学習センター控室でのイベント（よろず相談室）

- ・「なんでも窓口」
雑談、質問、なんでもお声がけください
(通常開催 火・水・金 11:30~13:30)
- ・「ネットとスマホ、とことんサポート」
超初心者対象の今更聞けないネットとスマホの相談
(第二・第四水曜日 11:00~13:00)



開催日は
Web サイ
トで確認し
てください

メタバースキャンパス（24時間いつでも）

- ・「木曜交流会」
毎週木曜日 20:00 から一時間程度
全国各地から学友が集います。聞くだけ参加もOKです。
入場の仕方は「よろず相談室」でいつでもサポートしています。





スケジュール

視聴学習室利用不可
(閉所日を除く)

1月		2月		3月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	日	1	日
2	金	2	月	2	月
3	土	3	火	3	火
4	日	4	水	4	水
5	月	5	木	5	木
6	火	6	金	6	金
7	水	7	土	7	土
8	木	8	日	8	日
9	金	9	月	9	月
10	土	10	火	10	火
11	日	11	水	11	水
12	月	12	木	12	木
13	火	13	金	13	金
14	水	14	土	14	土
15	木	15	日	15	日
16	金	16	月	16	月
17	土	17	火	17	火
18	日	18	水	18	水
19	月	19	木	19	木
20	火	20	金	20	金
21	水	21	土	21	土
22	木	22	日	22	日
23	金	23	月	23	月
24	土	24	火	24	火
25	日	25	水	25	水
26	月	26	木	26	木
27	火	27	金	27	金
28	水	28	土	28	土
29	木			29	日
30	金			30	月
31	土	アカデミックカフェ（札幌）		31	火

■1月中旬
次学期科目登録申請要項 送付

北海道SCのみ
1/7~1/11

視聴学習室・図書室
利用時間の変更
10:00~16:00

■2026-1学期科目登録
申請受付期間
【Web】2/13~2/28 (24時)
【郵送】2/13~2/27 (必着)

■2026-1学期 第2回目
出願受付期間
【Web】2/28~3/16 (17時)
【郵送】2/28~3/16 (必着)

■1/20~1/25
単位認定試験のため、ロビー以外は使
用できません（事務室は開いています）。

3/24(火)~3/31(火)
次学期準備
視聴学習室閉室
(北海道学習センターのみ)

■授業料納入期限
在学生：3月末

事務室の閉所日と利用時間

曜日	区分	北海道学習センター	旭川サテライトスペース
火~日	事務室	9:30~17:30	9:00~17:00
	電話対応	9:30~18:00	
	視聴学習室	10:00~17:00	
	図書室		—